

NEWS RELEASE

2009年6月25日

(財)損害保険事業総合研究所

損保総研 2008年度事業報告書、決算報告書

損保総研は、6月17日（水）に理事会、評議員会を開催し、2008年度の事業報告、決算報告が承認されました。

詳細は添付両報告書の通りですが、ポイントは下記の通りです。

1. 事業全体に共通する課題として、2008-2010年度中期計画に則り、様々な分野で利用者の利便性向上のための施策を実施するとともに、ホームページの改定など情報発信の強化に努めました。
2. 国内教育研修事業は受講者数が大幅に増加しました。特に大幅増加となった通信講座の受講者の学習支援のため、受講管理システム（LMS）の導入などの施策を展開しました。また新保険法成立に関連した講座を各地で開講し、多くの受講者を集めました。
3. 日本国際保険学校（I S J）は、一般コース、上級コースの2コースを例年通り東京で実施し、海外セミナーはソウルと台北で開催しました。
4. 調査研究事業は
 - 「欧米損害保険会社における損害調査実務の現状分析」
 - 「諸外国における保険制度の官民役割の実態について」という2つのテーマについて調査研究を行い、調査報告書をまとめました。
5. 学術奨励事業については、新たに「損害保険判例研究会」と「損害保険研究会（仮称）」の2つの研究会を立ち上げました。
6. 出版事業では新規学術書として、「保険法コンメンタール」と「外航貨物海上保険2009年ロンドン協会貨物約款対訳」を刊行しました。

なお、2008年度事業報告書、決算報告書は、近日中に損保総研のホームページに掲載いたします。

- 添付資料
1. 2008年度事業報告書
 2. 2008年度決算報告書

本件に関するお問い合わせ先

〒101-8335 千代田区神田淡路町2-9

財団法人損害保険事業総合研究所

総務部 城山 一成 (TEL : 03-3255-5511)

この資料は、保険関係業界紙各社へ同時に配布しております。